

授業科目 保健医療福祉連携論

【担当教員名】 柴山 悦子 山口 昇 矢谷 令子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・薬*・社会・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【＜一般目標：G I O＞】

私たちの身近な生活周辺から相互に助け合う連携やその枠組みについて学ぶ。更に保健、医療、福祉の専門職にあつての連携に関わる知識、技法、態度等について理解を深める。

【＜行動目標：S B O＞】

1. 社会生活にみる相互扶助サービスについて把握する。
2. 疾病、障害、マイノリティーの立場に立って心身、社会問題を分析する。
3. 個人生活から社会生活における、コミュニケーションについて意見交換をしあう。
4. 保健医療福祉にみる専門職の特徴について把握する。
5. 各職種連携現状研究
6. 保健医療福祉の連携の必要性、重要性についてまとめ発表しあう。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 又は備考・担当教員
	(授業内容説明、課題説明)		
	1. 自分の生活の中で他人から受けるサービスについて考え分類を試みる。	1	7人組になって行う。用紙使用
	2. 各組全員でそれぞれ疾病、障害、マイノリティーの特徴を挙げ身体上、精神上、社会上の問題を分析する。 ・上記2をうけて各自のコミュニケーション法について交換しあう。	2 3	7人組になって行う。用紙使用 2人組になって行う。
	3. これ迄に学んできた各自の専門職の特徴について発表し理解を深めあう。 ・保健医療福祉に関する全職種名とその役割について発表しそれらの連携の必要性、重要性について意見交換を行う。	4 5	2人組になって行う。 2人組になって行う。
	6. 上記2の学習経験から、各専門職に要求する事柄を整理する。 ・上記3をうけて再度"連携"の意義について話し合う。	2~5	7人組になって行う
	7. 上記1~6をふまえ各専門職の「連携」の必要性、重要性について発表、確認しあう。	6	クラス全体で行う。

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特になし 参考図書			
参考書	1			
	2			
その他の資料	配布資料			

【評価方法】 ・チェックリスト用紙 ・自己評価 ・提出物	【履修上の留意点】
---------------------------------------	-----------

全科共通科目  
医療福祉